

2025

5

Vol.14 No.5

GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

地質ニュース



5月号

-
- 101 **地質情報展 2024 やまがた
産総研東北センターからの出展報告** 田口修弘
-
- 103 **地質情報展 2024 やまがた：山形県の鉱物資源**
天谷宇志・左部翔大
-
- 108 **地質情報展 2024 やまがた 化石レプリカづくり**
石野沙季・中村由美・利光誠一・中島 礼・百目鬼洋平・
山谷忠大・川邊禎久
-
- 111 **2024 年度地質標本館における博物館実習**
中村由美・森田澄人・兼子尚知・川邊禎久
-
- 116 **地質標本館イベント「自分で作ろう！！化石レプリカ」
開催報告** 兼子尚知・利光誠一・森田澄人・川邊禎久・常木俊宏・
福田和幸・瀬口寛樹・中村由美・朝川暢子・清水裕子
-
- 118 **地質標本館イベント「地球なんでも相談」開催報告**
兼子尚知・川邊禎久・森田澄人・武井勇二郎・常木俊宏・藤原智晴・
福田和幸・瀬口寛樹・下川浩一・朝川暢子・清水裕子
-
- 120 **2024 年度 GSJ 見学会開催報告**
草野有紀・中村佳博・梅澤良介・今泉博之
-
- 125 **2024 年度 FREA 一般公開での GSJ 展示を担当して**
柳澤教雄・中川圭子・伊藤順一・内野隆之・小松原純子



5月10日は
地質の日



ウェブで
チェック!

5月10日を中心に全国でイベント開催!

地質の日事業推進委員会事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター

E-mail : geologyday-jimu-ml@aist.go.jp

Web : <https://www.gsj.jp/geologyday/>

地質の日事業推進委員会：(一社)日本地質学会、(一社)日本応用地質学会、(一社)日本鉱物科学会、資源地質学会、日本堆積学会、日本古生物学会、日本第四紀学会、日本情報地質学会(2025年4月より日本情報地球学会)、(独)国立科学博物館、全国科学博物館協議会、神奈川県立生命の星・地球博物館、(国研)産業技術総合研究所、日本科学未来館、(地独)北海道立総合研究機構、(公社)東京地学協会、(一社)全国地質調査業協会連合会、(NPO法人)日本ジオパークネットワーク、大阪市立自然史博物館、(公財)阿蘇火山博物館、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科(順不同：2025年1月現在)

撮影地：福岡県 芥屋の大門 題字：高橋須葉

地質標本館 特別展

地質 と AI

地球を読み解く新たなアプローチ

2025

4.22

火



9.7

日

近年、AI（人工知能）の技術開発は目覚ましく、社会におけるAIの利用は日々拡大しています。産総研 地質調査総合センター（GSJ）においても、画像解析等でのAIを利用した研究や、地質調査のためのAI技術の開発が進められています。本特別展では、GSJで実施しているそれらの研究と、今後の展望を紹介します。



開催場所：地質標本館 1階ホール
開館時間：9時30分～16時30分
休館日：毎週月曜日
(休日の場合は翌平日)

入場無料

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

 産総研
ともに挑む。つぎを創る。



GEOLOGICAL MUSEUM
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1
TEL: 029-861-3750 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSJ20250326

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 中 島 礼
副委員長 戸 崎 裕 貴
委員 竹 原 孝
児 玉 信 介
草 野 有 紀
宇 都 宮 正 志
山 岡 香 子
大 滝 壽 樹

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第 14 巻 第 5 号
令和 7 年 5 月 9 日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒 305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1
中央事業所 7 群

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : NAKASHIMA Rei
Deputy Chief Editor : TOSAKI Yuki
Editors : TAKEHARA Takashi
KODAMA Shinsuke
KUSANO Yuki
UTSUNOMIYA Masayuki
YAMAOKA Kyoko
OHTAKI Toshiki

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 14 No. 5
May 9, 2025

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan



羅臼岳（標高 1661 m; アイヌ語名ではチャチャヌプリ）は、北海道東部、知床半島脊梁部に分布する知床連山の最高峰を成す活火山である。直径は約 5 km, 大部分が輝石安山岩の溶岩や火砕岩からなる成層火山であり、その頂部には溶岩ドームが載っている。有史以降現在まで火山活動は認められていないが、過去に遡ると2200～2300年前、1400～1600年前、500～700年前の3つの時期に規模の大きい噴火が発生したことが知られている。この一帯はヒグマの生息地であり、登山や調査の際には十分な備えが必要である。

（写真・文：七山 太 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター / ふじのくに地球環境史ミュージアム）

Rausu-dake Volcano, the highest peak of the Shiretoko mountain range, seen from Rausu Town, eastern Hokkaido, Japan. Photo and caption by NANAYAMA Futoshi